



レビー小体型認知症サポートネットワーク福岡 専門職向け研修会・交流会



2024年10月12日(木)、天神・BiVi福岡にて初めての専門職向け研修会・交流会を開催しました。森本代表の司会のもと進行され、5名の専門職の方々にご参加いただきました。

冒頭では、前DLBSN福岡代表の下村さんより、会の立ち上げからその後の運営についてのご講演をいただきました。続いて、協力医である合馬先生から「レビー小体型認知症の基礎知識」に関する講義が行われ、専門的な視点から詳しいお話を伺うことができました。

後半では、レビー小体型認知症の当事者であるA氏を囲んでお話を伺う時間を設けました。A氏は60代前半から「朝起きるのがつらい」「めまい」「肩や首の痛み」といった症状に悩まされ、各病院を受診していました。そして2023年9月、レビー小体型認知症と診断されました。

現在70代前半のA氏は、診断前後の心情や周囲の反応について語ってくださいました。診断当初は、長く原因が分からなかった症状に答えが出たことで安心する一方、「これから先どうなるのか」という不安も抱いたとのことでした。ただし、家族に同じ症状の方がいたこともあり、動揺は比較的少なかったと話されました。

現在A氏が特に気をつけているのは、体力維持です。最近では太極拳を始め、趣味の絵画サークルや読書、音楽会にも体調を見ながら参加されています。また、傾眠や悪夢、注意障害(例：電車乗車時に切符を取り忘れるなど)や忘れ物が増えるなどの症状も見られる中で、ご自身のペースで日々を過ごされています。

会場にはA氏が描いた絵も展示され、その素晴らしい画風に参加者は感銘を受けた様子でした。絵画を通して、参加された専門職の方の活動との新たなつながりが生まれる場ともなりました。

今回の研修会・交流会は、専門職の皆様が認知症への理解を深めるとともに、当事者の声に直接触れる貴重な機会となりました。今後もこうした取り組みを継続し、認知症についての知識共有や交流をさらに広げていきたいと考えております。

次回の研修会・交流会は2025年1月16日(木) 18時~BiVi福岡6階会議室です。

*参加の際には、マスクの着用、自宅での体温測定をお願い致します。

報告者：DLBSN福岡 副代表坂梨左織

